

『願い』一步前へ

ち し ん 稚心を去る

長浜市立西中学校 学校だより 第1号
令和5年4月13日 発行文責；小川淳三
生活スローガン「あすこそは」
あいさつ・スマイル・こしほね・そうじ・はきもの

り つ よ う 立腰

春は希望の季節です。生きているもの全てが生氣にあふれています。159名の1年生を迎え、全校生徒478名・19学級（教職員50名）で西中学校の新たなスタートを切りました。

10日に挙行了した入学式での「式辞」において「**出会いとは新しい自分を発見する感動にある**」という言葉を読み上げました。出会いによって今までとはまた違った新しい自分を発見できる喜びに胸を弾ませながら、毎日の生活を明るく楽しく送っていきたいと思います。

また、私は3年連続で右の詩を取り上げ、次のように話しました。

腰骨を立てると、血液が脳によく回り頭が冴(さ)えてきます。そして、しっかり話を聞くことができます。これは、「心のコップ」が上を向いている状態にたとえることができます。コップが上を向いていると水を入れることができますが、腰骨が立っていないとコップが横向きになっていたり、下向きになっているのと同じで、水を入れることはできません。せっかくの話や教え（学んだこと）が心にたまっていきません。

今、あなたの「心のコップ」は上を向いていますか。

腰骨をシャンと立てる
ひしき 菱木秀雄
下腹に力を入れて
腰骨をシャンと立ててごらん
肩や胸に力を入れないで
あごを引きましょう
すばらしい姿勢です
元氣な体のもとです
頭脳(あたま)が澄んできます
あなたのわがままに勝てる姿勢です
あなた自身を見直せる姿勢です
厳しい世の中をのりきる姿勢です

WBCで侍ジャパンを率い世界一に導いた栗山英樹監督が、選手を育てる時に大切にしている指針が「**稚心を去る**」という生きる姿勢です。幕末の志士である橋本左内は14歳の時、自分の決意を記した『啓発録』に「稚心を去る」という言葉を残しました。「稚心」とは「おさな心」、すなわち子供じみた幼稚な考え、わがまま、自分勝手、甘え、人のせいにする、自分の思い通りにならないとむくれるなどのこと。小学生から中学生になるということは、これまでの「幼稚な自分、甘えた自分」を捨て去って、しっかりと自立していくということです。周りの大人に世話を焼かれたり、指示されたりする前に、自ら判断して行動できる中学生になってください。

本校が学校生活スローガンに掲げている「あ・す・こ・そ・は」の「腰骨」について、さらに「稚心を去る」という言葉を取り上げました。どうか腰骨を立てた姿勢でことにあたり、あなたのわがままな心に打ち勝ってください。そして、厳しい世の中を乗り切る力を身に付けてほしいと願っています。保護者の皆様、どうぞご家庭におかれましても「腰骨を立てる」と「稚心を去る」をキーワードに、将来の立派な社会人としての土台作りにご協力いただきますようよろしくお願いいたします。（後略）

さ ない けいはつろく
橋本左内が記した『啓発録』について、次の資料で学びたいと思います。

かえい
嘉永元年（1848年）に、橋本左内は数え年15歳になりました。そのころは、15歳をひとつの区切りにして、社会人として自立していく習慣がありましたが、左内も15歳の年齢をむかえ、これからの人生への心構えを書きのこすことで、自分の生き方を確実なものにしようと考えたのです。それが『啓発録』だったのです。だから、この『啓発録』は、もともと、ほかの人に見せたり教えたりするのが目的ではなく、左内自身が人生の目標をうち立て、学問へ志すための心構えをまとめたものだったのです。

橋本左内は、この心構えを、つぎの五つの項目にまとめ、これらを実行していく必要を述べました。すなわち、学問に励むためには

- 一、まず、わらべしい心を捨てること（**稚心を去る**）
- 一、つぎに、人に負けない心を、自分で励まし振るい立たせること（**氣を振るう**）

一、そして、自分が向上していこうとする心を、しっかり心に定め、人生の目標をうち立てること（**志を立てる**）

一、以上の三つを心に決めたら、志を達成するための学問に励み勉強を怠らぬこと（**学に勉める**）

一、そのために、自分の欠点を戒め、正しくしてくれる友だちを持つこと（**交友を選ぶ**）
の五つのことを実行することからはじまるのだということです。そして、この五つの心構えを順序よく、正しく守っていくならば、年齢に関係なく、その人はすでに、りっぱな考え方をもった人間だと橋本左内は説いたのです。『少年、君たちはどう生きるか』 青少年育成福井県民会議発行より

「志（こころ）を立てる」前に、まず「稚心（こころ）を去る」ことを意識して生活していきましょう。

新入生代表の中村瑞希さんは「これから、この学校で一緒に過ごす仲間とともに、新しいことを学び、見つけ、**一步一步立派な大人に成長できるよう、積極的に挑戦していきます。**」と誓いの言葉を力強く述べました。

一方、副生徒会長の小林さくらさんは「歓迎の言葉」で「今年度の西中学校生徒会では『**飛翔～笑顔で繋げ将来へのバトン～**』というスローガンを掲げています。飛翔の部分には三つの思いが込められています。一つ目は、より高みを目指す。二つ目は、西中全員がもっと**笑顔**になれるように。三つ目はより良い**将来**に繋げるという想いです。このスローガンのような学校に近づくためには、全校生徒皆さんの協力が必要です。仲間や先輩方と高めあい、笑いあい、より良い将来へと繋げられる中学校生活にしていきましょう。」と、やさしく語りかけました。



将来へのバトンをつな、笑顔で繋げていきましょう。生徒会活動にも期待しています。

めぐりあい

細刈季之

「はじめまして」「また会えたね」

春は出会いの季節 めぐりあいの季節

出会いのあいは 「人を愛す」のあい

互いを思い合う あたたかな関係からは

すてきなもののばかりが生まれてくる

あたたかい 春の大地から

タンポポやアネモネ チューリップ

明るい花々が 顔を出すように

そしてめぐりあいは

「愛が巡ってもどってくること」

愛することは 愛されること

意味のない出会いなど この世にはない

人は人に出会って 豊かに成長していく

「どうぞよろしく」の笑顔と握手から

新たな幸せの循環が始まっていく

年度の始めにあたり、始業式で朗読した詩です。人は人に出会って豊かに成長していきます。
笑顔と握手で、新たな幸せの循環を！ 腰骨を立てて、血液の循環を！

4月の主な学校行事予定

14（金）⑤⑥内科検診（3-1・2・3、特支）

1年生；仮入部

15（土）曳山祭本日 ①②授業③～全校校外学習

17（月）振替休業日

18（火）全国学力・学習状況調査（国数英）3年生

21（金）⑤⑥内科検診（3-4・5、2-1）

PTA運営委員会

24（月）1年生；本入部

26（水）～28（金）

3年生；修学旅行

☆学年行事の詳細は、各学年より連絡いたします。学校の様子はホームページをご覧ください。

